

## 仕様書

本仕様書は、山武郡市広域行政組合が委託する環境アクアプラントの水質等検査業務委託に適用する。

- 1 業務の名称 水質等検査業務委託
- 2 検査項目 別紙検査項目一覧表のとおり
- 3 業務の場所 千葉県東金市家徳 3 3 5 番地 1  
環境アクアプラント
- 4 履行期間 契約締結日から令和 7 年 3 月 3 1 日まで

### 5 業務の履行

受注者は、業務を実施するに当たり、本仕様書に基づき、能率的、経済的かつ安全に業務を履行しなければならない。

### 6 法令の遵守

受注者は、業務の履行に必要な関係法令を遵守しなければならない。

### 7 安全の確保

受注者は、労働安全衛生法、労働安全衛生法施行令（昭和 4 7 年政令第 3 1 8 号）、労働安全衛生規則（昭和 4 7 年労働省令第 3 2 号）、その他災害防止関係法令に定めるところにより、常に安全管理に必要な措置を講じ労働災害発生の防止に努めること。

- (1) 受注者は、事故防止を図るため安全対策を明確にしなければならない。
- (2) 受注者は、業務履行に当たり必要な安全対策を行うとともに、適切な業務方法の選択及び業務員の配置割当を行い、危険防止に努めなければならない。
- (3) 受注者は、業務履行に当たり安全管理上の障害が発生した場合は、直ちに必要な措置を講じるとともに速やかに発注者に連絡し、その指示に従わなければならない。
- (4) 発注者は受注者の要請により必要な安全措置を講じなければならない。

### 8 疑義

本仕様書の内容に相違がある場合、明記されていない場合、または疑義を生じた場合は、双方協議の上実施すること。

9 発生物件

業務により発生した有価物件は、発注者の指示に従わなければならない。

10 業務終了後の措置

受注者は業務終了後、不要品等を適切に片付け清掃しなければならない。

11 損害補償

業務履行中に受注者の責任による損害を生じた場合は、受注者はこの補償をしなければならない。

12 発注者の負担

業務に要する電力、水については発注者の負担とする。

13 提出書類

提出書類は下記のとおりとする。受注者は、検査を実施した翌月の10日までに発注者に報告書を提出しなければならない。報告書の提出が遅れる場合は、あらかじめ、発注者に報告し提出日を決めるものとする。

(1) ばい煙測定

・ ばい煙測定報告書 1回の測定につき2部

(2) 排ガス中の水銀濃度測定

・ 水銀濃度測定報告書 1回の測定につき2部

(3) 放流水検査

・ 計量証明書 1回の測定につき2部

(4) 焼却灰溶出試験

・ 計量証明書 1回の測定につき2部

(5) 騒音・振動測定

・ 音圧レベル計量証明書 2部

・ 振動加速度レベル計量証明書 2部

(6) ダイオキシン測定

ア 排出ガス、ばいじん、焼却灰その他の燃え殻

・ 排ガス測定（ダイオキシン類）報告書 2部

・ 焼却灰中のダイオキシン類検査報告書 2部

イ 焼却炉周辺の作業環境測定

・ 焼却炉周辺の作業環境測定報告書 2部

## 検査項目一覧表（検体数）

- 1 ばい煙測定（年 2 回実施：7 月頃及び 1 月頃）（検体数等）
  - ・ダスト濃度 4 検体
  - ・硫黄酸化物濃度 4 検体
  - ・窒素酸化物濃度 4 検体
  - ・塩化水素濃度 4 検体

※ 焼却炉 2 基とする。
  
- 2 排ガス中の水銀濃度測定（年 2 回実施：7 月頃及び 1 月頃）
  - ・ガス状水銀 4 検体
  - ・粒子状水銀 4 検体

※ ばい煙測定と同時に実施することとし、測定方法については環境省告示第 94 号による。

※ 焼却炉 2 基とする。
  
- 3 放流水検査
  - (1) 水質検査（年 10 回実施：毎月）
    - ・水素イオン濃度（pH） 10 検体
    - ・生物化学的酸素要求量（BOD） 10 検体
    - ・化学的酸素要求量（COD） 10 検体
    - ・浮遊物質（SS） 10 検体
    - ・大腸菌群数 10 検体
    - ・塩素イオン含有量（CL-） 10 検体
    - ・アンモニア性窒素含有量（NH<sub>4</sub>-N） 10 検体
    - ・硝酸性窒素含有量（NO<sub>3</sub>-N） 10 検体
    - ・亜硝酸性窒素含有量（NO<sub>2</sub>-N） 10 検体
    - ・総窒素含有量（T-N） 10 検体
    - ・総りん含有量（T-P） 10 検体
    - ・色度 10 検体
    - ・n-ヘキサン抽出物質（鉱油脂類含有量） 4 検体
    - ・n-ヘキサン抽出物質（動植物油脂含有量） 4 検体

※ 水質検査の n-ヘキサン抽出物質の検査については、6 月、9 月、12 月及び 3 月に実施
  
  - (2) 一律排水基準に係る有害物質検査（年 1 回実施：2 月頃）
    - ・カドミウム及びその化合物（Cd） 1 検体
    - ・シアン化合物（CN） 1 検体

・有機燐化合物 (ハ <sup>○</sup> ラチオン、メチルハ <sup>○</sup> ラチオン、メチルジ <sup>○</sup> メトン及び EPN に限る。)	1 検体
・鉛及びその化合物 (Pb)	1 検体
・六価クロム化合物 (Cr(6))	1 検体
・砒素及びその化合物 (As)	1 検体
・水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物 (T-Hg)	1 検体
・アルキル水銀化合物 (R-Hg)	1 検体
・P C B	1 検体
・トリクロロエチレン	1 検体
・テトラクロロエチレン	1 検体
・ジクロロメタン	1 検体
・四塩化炭素	1 検体
・1, 2-ジクロロエタン	1 検体
・1, 1-ジクロロエチレン	1 検体
・シス-1, 2-ジクロロエチレン	1 検体
・1, 1, 1-トリクロロエタン	1 検体
・1, 1, 2-トリクロロエタン	1 検体
・1, 3-ジクロロプロペン	1 検体
・チウラム	1 検体
・シマジン	1 検体
・チオベンカルブ	1 検体
・ベンゼン	1 検体
・セレン及びその化合物	1 検体
・ほう素及びその化合物	1 検体
・ふっ素及びその化合物	1 検体
・アンモニア、アンモニア化合物、 亜硝酸化合物及び硝酸化合物	1 検体
・1, 4-ジオキサン	1 検体

#### 4 焼却灰溶出試験 (年2回実施：7月頃及び1月頃)

・アルキル水銀化合物 (R-Hg)	2 検体
・水銀又はその化合物 (T-Hg)	2 検体
・カドミウム又はその化合物 (Cd)	2 検体
・鉛又はその化合物 (Pb)	2 検体
・六価クロム化合物 (Cr(6))	2 検体
・砒素又はその化合物 (As)	2 検体
・P C B	2 検体
・セレン又はその化合物	2 検体

- ・熱しゃく減量 2 検体
- ・1,4-ジオキサン 2 検体

5 騒音振動測定 (年1回実施：12月頃)

ア 騒音測定 昭和43年厚生省、農林省、通商産業省、運輸省告示第1号

イ 振動レベル測定 昭和51年環境庁告示第90号

- ・騒音測定 4地点×4回 16回
- ・振動測定 4地点×2回 8回

6 ダイオキシン測定

(1) 排出ガス、ばいじん、焼却灰その他の燃え殻 (年1回実施：6月頃)

ア 排出ガス

- ・排ガス (出口×2炉) 2箇所
- ・酸素、一酸化炭素 (4時間連続測定) 2箇所
- ・排ガス基本測定 2箇所
- ・ダイオキシン類対策特別措置法施行規則 (平成11年総理府令第67号) 第2条第1項第1号に定める測定方法 J I S K 0 3 1 1 他

イ ばいじん及び焼却灰その他の燃え殻

- ・焼却灰中のダイオキシン類 1検体
- ・集じん機によって集められた  
ばいじん中のダイオキシン類 (飛灰) 2検体
- ・特別管理一般廃棄物及び特別管理産業廃棄物に係る基準の検定方法  
(平成4年7月3日付け厚生省告示第192号、改正平成12年1月14日付け厚生省告示第6号) 別表第1に定める方法 J I S K 0 3 1 1 他

(2) 焼却炉周辺の作業環境測定 (年2回実施：6月頃及び12月頃)

- ・乾燥焼却室 (粉じん) 16箇所
- ・灰ホッパー室 (粉じん) 7箇所
- ・焼却炉内 (粉じん) 6箇所
- ・廃棄物焼却施設内業務におけるダイオキシン類ばく露防止対策要綱 (平成13年4月25日付け基発第401号の2) に定める測定方法による。

※ 令和3年度に測定したD値を使用して粉じん濃度のみ測定するものとする。(発注者から資料の提供を受けること。)